

議長定例記者会見（H27.6.30）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。
ございます。

まず初めに、6月定例会採決結果について報告いたします。

知事提出議案20件のうち「職員の再任用に関する条例及び職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案」を含む議案6件を可決し、報告のみが14件ありました。

議員発議案については、提出された4件とも否決となりました。

議員派遣については、国内派遣3件が可決されました。

次に、去る6月16日「平成28年度重点施策に係る提案活動」を、県議会及び執行部・市長会・町村会合同で行いました。

その内容は、平成26年度からスタートした「青森県基本計画未来を変える挑戦」において、人口減少対策を県政の最重要課題として位置付け「人口減少克服プロジェクト」を初めとし、「産業・雇用」「安全・安心、健康」「環境」「教育、人づくり」の各分野において、積極的に取組を推進してきました。

そしてその取組を円滑に推進するため、平成28年度の国予算編成及び施策立案においても、検討してもらいたい事項を、提案したものであります。

県の要望件数は、新規事項の6件を含め全部で19件

であります。

また要望先としては、総務省を初め関係省庁合わせて9カ所となりました。

次に、議会改革についてであります。

議会改革については、これまでも改選期ごとに、各会派から提出された議会改革項目について、議会運営委員会や議会改革検討委員会において検討し、改革を図ってきたところであります。

私としましては、引き続き議会改革を図っていく必要があると考えていました。

そこで、これまでと同様に、各会派から改革を要する項目を提出してもらい、議事運営に係る項目は議会運営委員会において、それ以外の項目は議会改革検討委員会において検討することとして、去る6月11日の各会派代表者会議において決定したところであります。

検討項目については、本日の各会派代表者会議及び議会運営委員会において公表されたところであります。

県議会としましては、今後、順次検討を重ねた上で、議会改革を進めていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

(質 問)

○ 記 者

議会改革の件でお伺いします。

今日、検討の指示をされたということですが、議長としてはどれくらいの期間で検討を終えてほしいと思っておりますか。

中には、選挙区の区割りの案件とか国勢調査の結果を待たなければならないものもありますが、その分を除いた部分については、どれくらいの期間で検討の結果をしてほしいと考えているのでしょうか。

○ 議長

できるものは早めに結果を出したいと思っていました。

区割りなどは、相当時間がかかると考えています。

特に青森県は、1人区が多いものですから非常に難問ではないかと思っています。

時間のかかるものは用意周到にやっていきたいと思っています。

○ 記者

できるだけ早めにというものは、年度内とかのスパンで考えているのでしょうか。

○ 議長

それは、ちょっと難しいですね。

○ 記者

区割りについては、時間をかけないといけないということですが、どのくらいの時間がかかると考えていますか。

○ 議長

三戸郡がかつて、4人を3人へと定数を1削減したときがありました。

津軽のほうも3カ所ぐらい減らしたときがあったので

すが、そのときもかなり時間がかかりました。

51人を48人へとたった3人を減らすのにも、相当の時間をかけていましたので、区割りの問題は、時間をかけないとなかなか簡単にはいかないのではなかろうかと、私の私見ではありますけれどもそう思っています。

用意周到にやっていきたいと思っています。

古村議員が言うように、国勢調査の数字が出たからすぐにやれば良いという問題ではありませんので。

青森県は、特にそういう歴史もあるわけですから、その辺は、用意周到にはかかっていきたいと思っています。

○記者

議長としての初めての議会だったわけですが、率直な感想を聞かせてください。

○議長

こんなに忙しいものだとは、思わなかったですね。

議会事務局職員の皆さんには苦勞をかけるなと思っていましたが、一字一句間違わないように、きちんと段取りをしてくれて初めて私どもの議会活動ができるんだなと改めて感じました。

職員の皆様は、私どもよりは議会運営の経験が長いわけですから、その辺も含めて感謝しています。

職員に負けないように頑張りたいと、正副議長ともそのように思っています。

以上です。